

DOAX

取付け説明書

1 - 片開き戸

[ピンポイントヒンジ 取付け説明書]

[ブラインド戸当たり 取付け説明書]

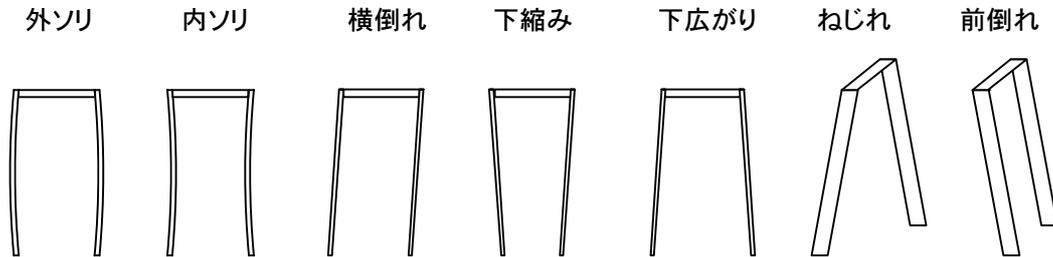
2 - 片引き戸

3 - アウトセット片引き戸

3 - 折れ戸 [2枚折れ戸・4枚折れ戸]

片開き戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。



2. ドアを吊り込みます。

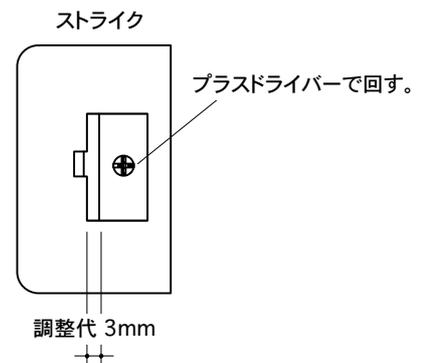
吊り込み方法は別紙「No.190BD ピンポイントヒンジ」をご覧ください。

3. 調整が必要な場合は丁番の調整機能を使い調整してください。

調整方法は別紙「No.190BD ピンポイントヒンジ」をご覧ください。

***必ず下の床と戸の隙を10mmに設定してください。**

4. ドアと枠のクッションの隙に調整が必要な場合は、ストライクの調整機能を使い調整してください。



5. 床付け戸当たりのメダルプレートを床に取付けます。

取り付け方法は別紙「エイト ブラインド戸当たり取付け説明書」をご覧ください。

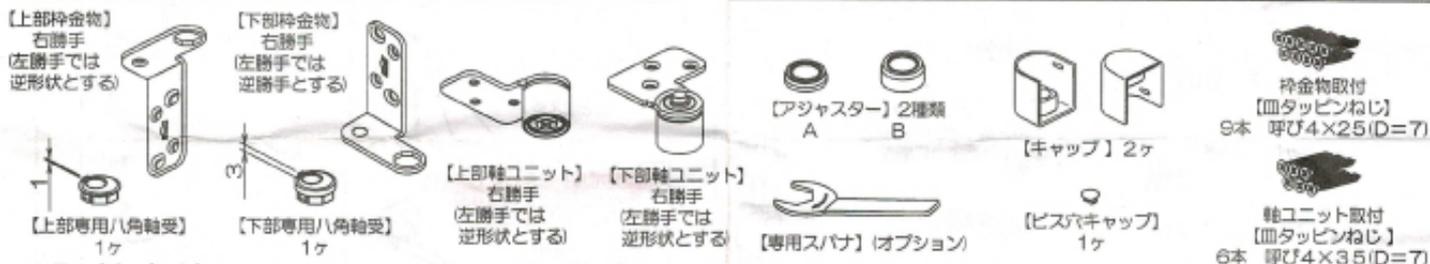
完成です。

使用扉条件

- ・扉厚 : 33mm~42mm
- ・扉重量 : 35kg以下
- ・扉寸法DW : 850mm以下
- DH : 2200mm以下

取付前確認

- ! 扉の左右勝手と製品の左右勝手に御確認下さい。(下図参照)
- ! 枠と扉の隙間を確認します。
(扉左右 各4mm以上、扉上部 6mm以上)
- ! 本製品は床面で扉荷重を受ける為、下部の枠金物が取り付く部分の床面は、硬く変形しない平らな面であることを確認して下さい。



取付方法

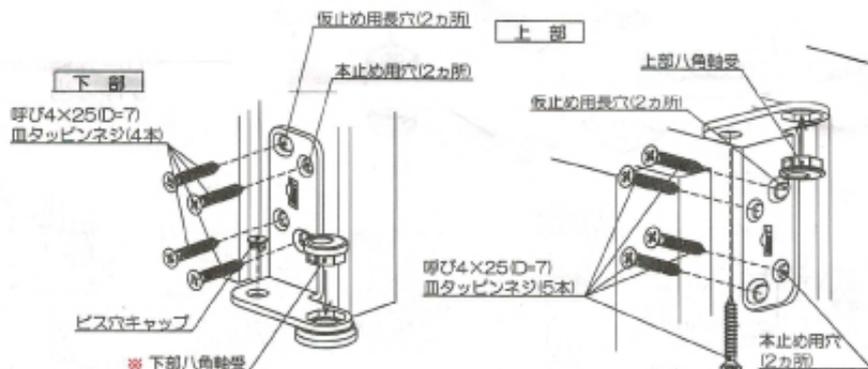
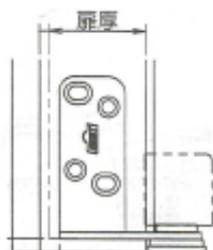
△ 以下の取付寸法は右勝手使用時での説明です。左勝手の場合は左右で置き換えてください。

1. アンダーカット寸法の決定 (扉下部のすき間)

下部 床面と戸の隙間は10mm。
付属のアジャスターABは使用しない。

2. 枠金物の取り付け

枠金物取付位置



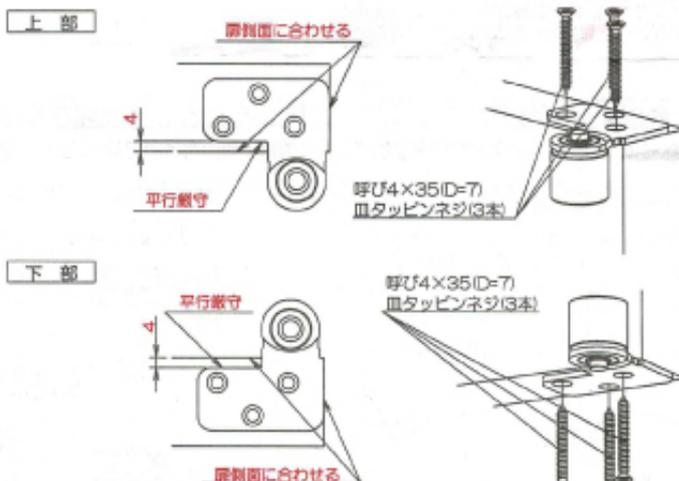
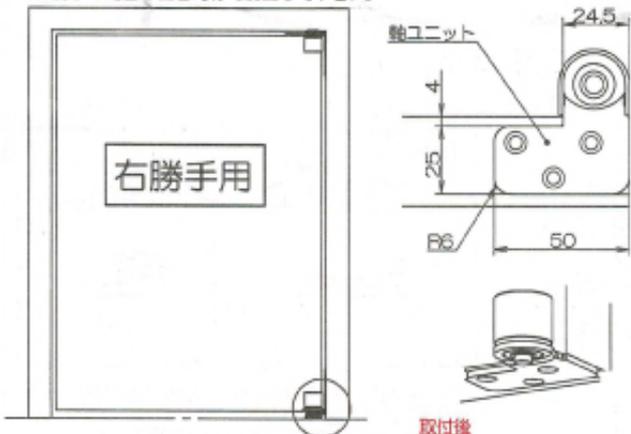
上記のように枠金物の上面と上枠面が一致する様にし、反止め用長穴で反止め位置出し後、本止めします。

3. 軸ユニットの取り付け

※ アンダーカット10.5mm~13mmの場合のみ彫り込みを行なう。
軸ユニット取付位置に現物の寸法形状に合わせて、

下図を参考に上下軸ユニット共に位置を正確に決め、扉に対してしっかりと最後まで、付属のねじにて止めて下さい。

左勝手の場合は左右対称で加工して下さい。



⚠ 扉の吊りこみ、調整においては手動のドライバーで行ってください。インパクトドライバー等を使用すると破損の恐れがあります。

取付方法

4. 扉の吊り込み

①上部軸ユニットの調整ボルトをドライバーで締めます。(約4mm程度)

上部

※締めすぎるとネジが外れ、分解してしまう恐れがあります。

②下部軸を軸受け穴にほめこみます。

下部

③指で軸を押し込みながら軸を軸受け穴に近づけ、指を離して軸を軸受け穴に確実にはめ込んで下さい。

※確実ににはめないと、扉が落下する恐れがあります。

④下部軸ユニットの調整ボルトを締めていき、上枠と扉上部との隙間が6mmになるように調整します。

※締めすぎると金物が変形し、扉が落下する原因になります！

⑤軸脱防止のため、上部軸ユニットの調整ボルトを締めます。下図のように、調整ボルト下面と軸ユニット下面の高さが揃ったところで止めて下さい。

※締めすぎると金物が変形し、扉が落下する原因になります！

面を揃える

※調整ボルトを平行にしないとキャップが入らなくなり、破損の原因になります。

図の様に上下調整なし内側の平位置と扉の正面を平行に揃えて下さい。

⑥上下共キャップをカチッとなるまではめて取付完了です。

上部

下部

5. 吊り込み確認

調整を必要とする時は、『調整方法』に従ってください。

調整方法

調整は扉を外す場合がありますので、安全には充分気をつけてください。

1. 上下調整は扉を吊ったまま行なう事が出来ます。前後左右の調整は扉を外す必要があります。
2. 上下のキャップを外します。
※紛失、破損に注意して下さい。
3. 扉が枠に当たっている箇所を特定します。

扉の上部、または下部が当たっている場合 ⇒ 4 ^

扉の戸先側が枠に当たる
扉の戸先側の隙間が大きい
扉が枠に当たり閉じにくい
錠が掛かりにくい ⇒ 5 ^

4. 上下の調整

①まず、上部軸ユニットの調整ボルトをドライバーで締めます。左向きボルトを軸ユニットから2~3mm出したところで止めます。

調整ボルト

②次に、下部軸ユニットの調整ボルトをドライバーで締めると扉が上がり、締めると扉が下がります。上枠と扉上部との隙間が6mmになるように調整して下さい。その際、調整ボルトが軸ユニットから飛び出さない範囲で調整して下さい。

※締めすぎるとネジが外れ、分解してしまう恐れがあります。

③高さの調整が済んだら、再び上部の調整ボルトを締めます。ゆっくりと締めていき、上部軸ユニット下面と、調整ボルト下面の高さが揃ったところで止めます。

※締めすぎると枠金物が変形し、扉の落下につながる恐れがあります。

5. 前後左右の調整

①調整ボルトを4mm程度緩めた状態で、右図のように軸受け穴の上から軸を押し込みと扉を外せます。

【注意！】扉をしっかりと支えておいてください。簡単に扉が外れるため注意してください。

②軸受を取り外して、軸穴位置を扉が当たらない位置にすらすら嵌めてください。(上下同じ方法です。)△マークがある方に扉が寄りやすくなります。

※紛失、破損に注意！

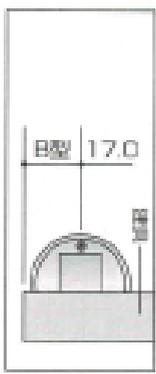
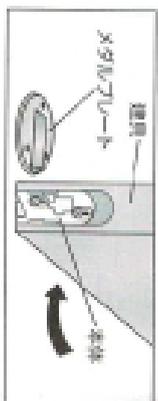
軸受

調整が済んだら、『取付方法』の「4.扉の吊り込み」を参照して扉を取り付けて下さい。

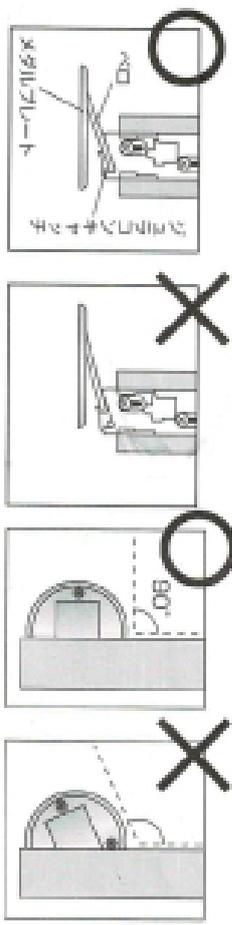
3 エイトプラインド戸当り取付け説明書

1. 戸当りが**ロータ**の場合、建具に図④の切りかみ加工を必ずして下さい。
戸当りが**ロッタ**の場合、建具に図⑤の切りかみ加工をして下さい。

3. 建具を止めたい位置まで開き、メタルブレードの位置決めをします。

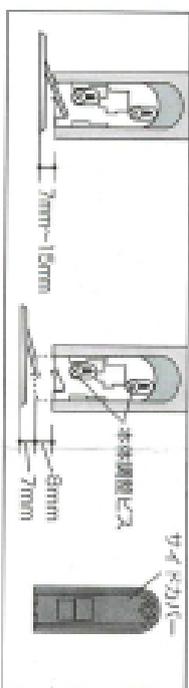


④メタルブレードのベロが本体シユラコフキャッチに奥まで、直前にセットされているか確認して下さい。



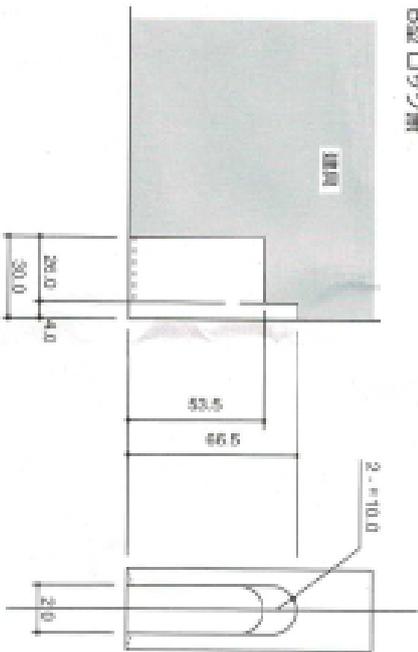
位置決めが終わりましたらメタルブレードを床にビス止めして下さい。
(この時メタルブレードの向きが変わらない様注意して下さい。)

4. 建具と床の隙間寸法は7mmが最適ですが、ユニットプー等で床との隙間が7mm以上有る場合は、本体調整ピスで本体を床との隙間が7mmに成る様にして下さい。調整器が終わりましたらサイドカバーを本体の溝に差込、上へスライドさせて下さい。(本体のプッシュ寸法は8mm可塑性ので床と建具の隙間が最大15mm・最小7mmを使用出来ます。)



切りかみ加工済み

図⑤ B型 ロッタ類



2. ムライント戸当り本体をセットして建具の調整を終わらせて下さい。

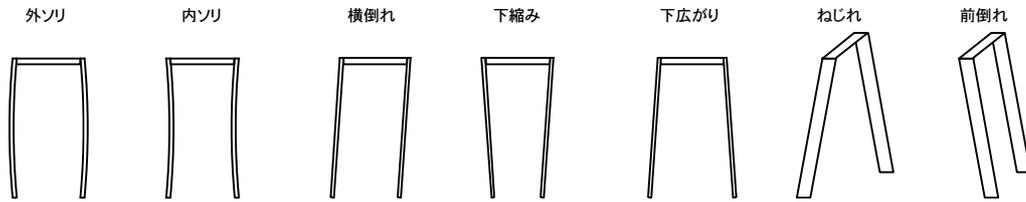
取付け・調整には出来るだけ電動工具は使わないで下さい。

もしご使用の場合、最後の締め付けは手動でお願ひ致します。

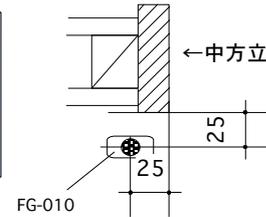
取付けに不具合が有りますと機能が完全に働かせませんのでご注意下さい。

片引き戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。



2. 床付けガイドFG010を床に取付けます。→



3. 以下の施工ガイドに従って戸を取付けます。

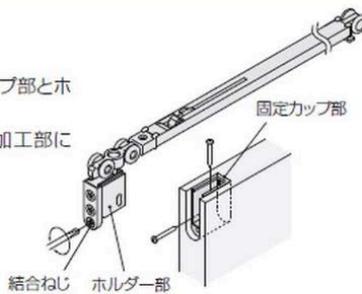
***下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



2. レールの穴あけ

レールの穴開け加工済みです。

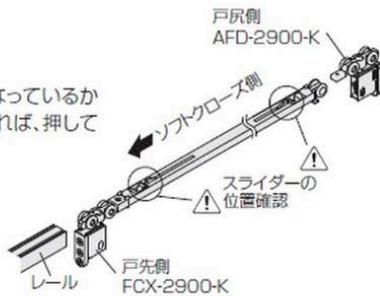
3. レールの取付け

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

■ご注意

ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

- ② レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③ 上枠にレールを取付けてください。



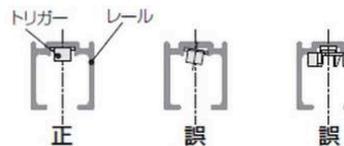
4. トリガーの取付け

戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

- ① トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ② 「2.レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴①]・[戸尻用の場合:穴②]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

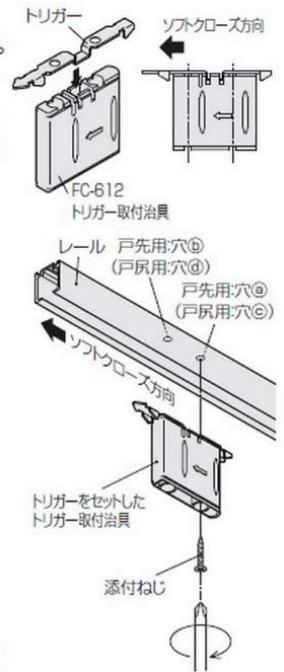
■ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



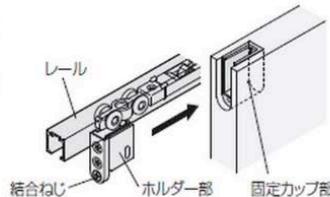
- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③ 完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴①]、[戸尻用の場合:穴②]をねじ止めしてください。



■戸の吊込み

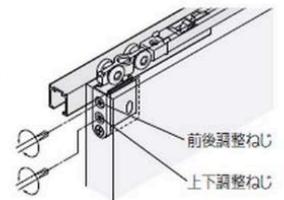
- ① 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ② 固定カップ部にホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定してください。



■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。
※ソフトクローズの速度調整はできません。



***下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

4. 完成です。

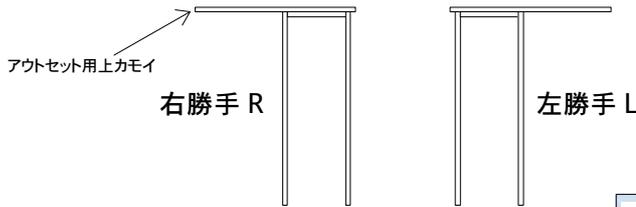
アウトセット片引き戸 枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。

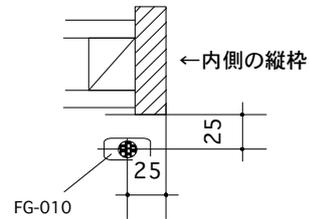


2 左右勝手を決めて、アウトセット用上カモイを取付けます。

[取付け位置はそれぞれの図面をご確認ください。]



3.床付けガイドFG010を床に取付けます。→



4.以下の施工ガイドに従って戸を取付けます。

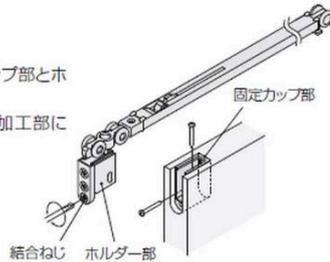
***下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

施工ガイド

■金具の取付け方法

1. 上部吊り車の取付け

- ① 結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部とを分離します。
- ② 固定カップ部のみ、戸の木口加工部に取付けてください。



2. レールの穴あけ

レールの穴開け加工済みです。

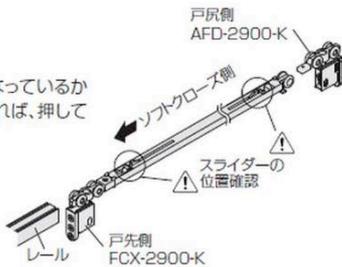
3. レールの取付け

- ① スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

■ご注意

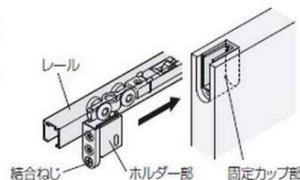
ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

- ② レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③ 戸車を入れた後、戸先・戸尻の両先端にストッパーAFD380を挿入します。
- ④ 上枠にレールを取付けてください。



■戸の吊込み

- ① 下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ② 固定カップ部にホルダー部を差込み、結合ねじを締めて固定してください。



4. トリガーの取付け

戸先用・戸尻用に、下記①～③を繰り返します。

- ① トリガーをトリガー取付け用治具にセットします。
- ② 「2.レールの穴あけ」であけた[戸先用の場合:穴⑥]・[戸尻用の場合:穴⑦]に、右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。

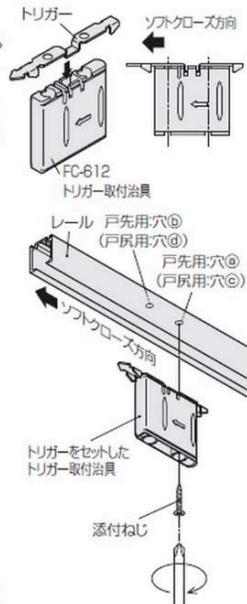
■ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

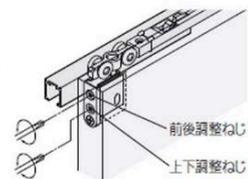
- ③ 完全に固定されたら、取付け治具を下に引き抜き、残りの[戸先用の場合:穴⑥]・[戸尻用の場合:穴⑦]をねじ止めしてください。



■戸の位置調整

- ① 戸を吊ったままで、ホルダー部の上のねじを回すと戸の前後調整、下のねじを回すと戸の上下調整ができます。

※調整時に戸を持ち上げると、調整をしやすい場合があります。
※ソフトクローズの速度調整はできません。

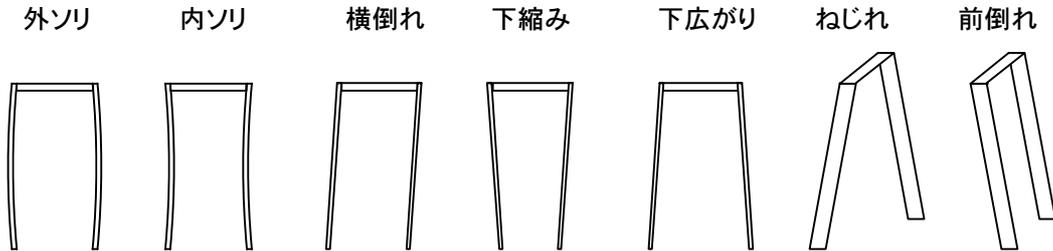


5. 完成です。

***下の床と戸の間は必ず8mmに設定してください。**

折れ戸枠セット 取り付け説明書

1. 枠を以下の7つに気をつけて取付けます。

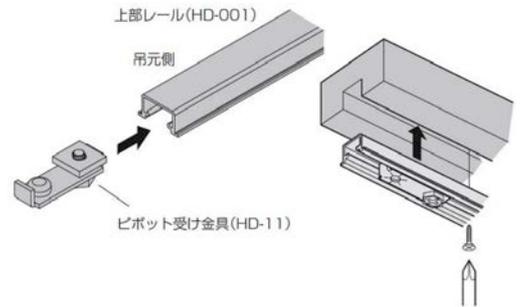
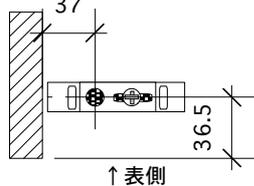


2. レール内にHD-11を入れ、レールを枠に固定します→

2. レールの取付け

- ① 上部レールを取付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上部レール内に挿入しておきます(ゴムストッパーHD-12を使用する場合は、それも先に挿入しておきます)。
- ② レールを取付けてください。

3. 床に下部ピボット受けHD15-NLを固定します。

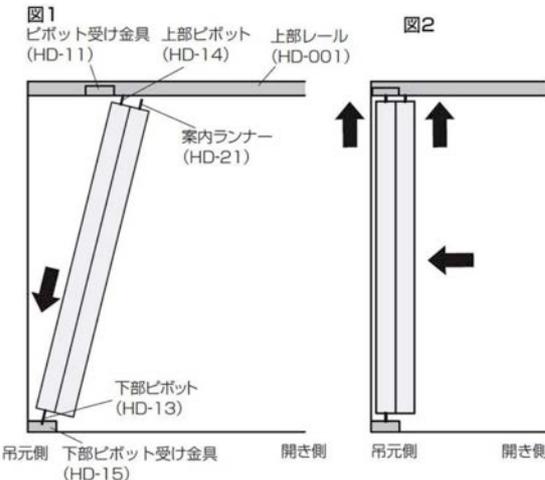


4. 戸を吊り込み、調整します。

***必ず下の床と戸の隙は15mmに設定してください。**

■戸の吊り込み

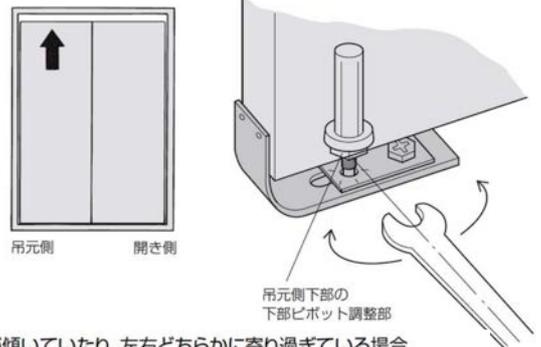
- ① ピボット受け金具(HD-11)は上部レールに固定しないでフリーの状態にして、図1のように、下部ピボット受け金具(HD-15)よりも開き側の方へずらしておきます。
- ② 戸を傾けて、下部ピボットをピボット受け金具(HD-15)に入れます(図1)。
- ③ 図2のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボットを上部レール内のピボット受け金具(HD-11)に、次に上の案内ランナーを上部レールに入れます。
- ④ 吊元位置を定位置まで移動させ、扉の下部のピボット受け金具をスパナでしっかりと固定してください。



■戸の位置調整

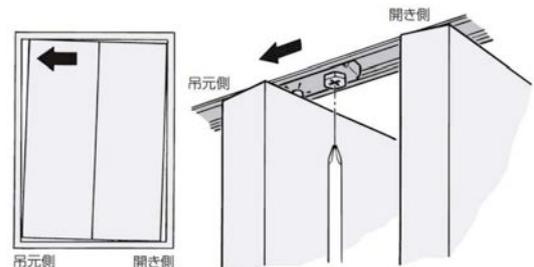
戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎたりしている場合
→ 下部ピボットで、上下調整をしてください

- ① 戸を閉めた状態で、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)で回すと、戸が上下します。
- ※調整時に戸を持ち上げると、調整しやすい場合があります。



戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合
→ ピボット受け金具で、左右調整をしてください

- 例えば戸が図のように傾いている場合は、上部ピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せ、下のピボット受け金具(HD-15)のプレート部を開き側に寄せて調整します。



完成です。